第八　皇帝御訪日及建國神廟ノ創建

一、御訪日ニ關スル陸軍ノ要務

イ、昭和十四年七月七日閣議席上板垣陸軍大臣ヨリ御訪日ノコトヲ說明シ次テ宮內大臣ニ傳ヘ之ニ對スル宮內省ノ內意ハ後日參謀長上京ノ際傳ヘ次テ同部內閣トナルヤ更ニ陸軍大臣ヨリ閣議席上說明セラルル筈ニ付的確ノ確答ノ確立ニ關シテハ陸軍ニ於テ斡旋ニ努メタリ一月中旬紀元節ヨリ打合ノ爲上京シ具體計畫ニ關シ宮內省ヲ中心トシテ協議スルルニ及ヒ事ハ日ラノ關係事項ニ專念シ米內內閣關係ニ對スル說明ノ如キモ外務大臣ニ於テ行ヘリ

2. 陸軍ニ關スル事項ハ宮內省ノ通牒ニ基キ官房、補任課、恩賞課、

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

兵務課、醫事課等ニ於テ夫々軍隊、官衙、學校等ヘノ指令、通牒等本務ニ從ヒ措置シ軍務課ハ宮内省、外務省等部外トノ連絡折衝及省内關係課、關東軍トノ連絡、大使館ノ指導等ヲ行ヘリ

3. 宮内省カ前回ノ御訪日行事ノ經驗ニ基キ自信ニ富ミタル準備ヲ以テ進シタルハ可ナルモ日滿ノ特殊關係ニ對スル考慮尚徹底セス一般外國々賓待遇ノ例ヲ尊重シ例ヘハ地方長官ヲ上位トシ軍司令官、師團長等ヲ下位ニ置ク等ノ結果トナリタルモ軍ニ於テ事前ニ注意セサリシ爲之ヲ修正スル能ハサリシハ遺憾ナリ

4. 海軍側ハ特ニ熱意ヲ有シ御召艦等ノ準備ニ效果ヲ上セリ而シテ[illegible]ハ[illegible]ヲ置キ上タル場合ヲモ豫想ヲ立タリ御警衛ノ一部ニハ[illegible]

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

御利用ノ恩召アラハ責任ヲ負フヘシトノ譯アリタルモ現地側ニ希望ナシ

5. 接伴員ハ外務、海軍各二名ニ對シ陸軍ハ前例通リ三名ニ定メラレタル次第ニシテ恩典ト考ヘラル尚吉岡少將ハ關東軍參謀ニシテ其命令ニ依リ常盤御用掛ヲ勤メアルモノナレハ特ニ皇帝ニ隨從スヘキ命令ヲ發セラレタリ前回ハ此ノ命令ナキ爲列内ニ入ル能ハサリシモ今回ハ急ヘス發令ヲ願ヒシ名實共ニ滿側ノ中核トナリ日滿間ノ連絡モ特ニ良好ナルヲ得タリ

三、建國神廟ニ關スル皇室ノ義務

1. 今次御訪日ノ目的ハ皇祖二六〇〇年御慶祝ヲ目的トセラルルモノ

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

ナルコトハ一般ニ説明セラレタル所ナルモ其ノ最モ重大ナル意義ハ我帝國ノ精神ヲ親シク御感得遊ハサレ天照大神ノ御意代ヲ受ケサセラルルニ在ルトノ内意ヲ帶レ承リ居リタル事ノ事務官ト シテ昭和十四年十二月初旬本件ニ關スル閣議決定案ヲ起草シタルモ畑陸軍大臣ハ一般ノ樹滿殿務ト其ノ性質ヲ異ニスル重大事項トシテ留保セラル。

十五年一月中旬星野總務長官等上京シ右ハ全ク皇帝陛下ノ深慮ニ發スル思召ナルコトヲ直接大臣ニ傳ヘ宮内省首腦部、米内首相等ヘモ説明シ吉岡少將亦小磯拓相等ニ説キ此處ニ日本側モ滿側ノ眞意ヲ諒解スルニ至リ歴史的意義ヲ有スル本問題ハ漸ク展開セリ即チ先

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

ツ畑陸相ヨリ二月廿三日閣議席上ニ於テ皇帝ノ思召ヲ傳ヘ其ノ御趣旨ヲ拜察シテ説明シタルカ之ヨリ先内務省神社局ヲ中心トシテ専門家ノ間ニ滿側ノ希望ニ應シ種々援助スル如ク打合セヲ開始セリ

右ノ如ク本件ハ全然内的ノ取扱ニ止メ日本側ヨリ要求セル如キ印象ヲ絶對ニ起ササル樣特ニ注意セラレタルモノニシテ當初閣議決定ノ形式ハ遂ケラレタルモ事ノ重大ナルニ鑑ミ豫メ内奏スル要アルヲ以テ改メテ滿洲國ヨリ在滿大使ヲ經テ正式ニ日本政府ニ思召ノアル所ヲ通シ之ニ基キ日本政府モ思召ニ添フ如ク取計ル旨ヲ決定スルコトトナレリ、尚、外、内、陸相ヨリ閣議ニ報告六月廿九

157

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

日決定）

2. 滿洲側ヨリハ天皇陛下ノ御恩ヲ得ルコト、御神寶ヲ賜ルコトヲ得ハトノ希望ヲアリタル處此ノ如キハ事前ニハ臣下ノ如何トモスベカラザル問題ナリ惟一縣眞ノ精神ハ御上ニ通セラレタルヤニ拜察シアリ而シテ御鏡代ハ日本ノ神社ノ御鏡ヲ謹製スル專門家ニ滿側ヨリ謹製セシメ憲兵警護ノ下ニ一旦大使館ニ移シ皇帝御到着ノ日即チ六月廿六日ニ御室ニ安置シ七月三日伊勢神宮御參拜ノ際奉迎從員ヲ神樂殿ニ通ハシテ御清メヲ受ケ（神樂奉納トノミ發表セラル。小官接伴員トシテ隨行）サセラル又御神寶ニ就テハ七月一日御告別ノ爲宮城ニ御參入ノ際天皇陛下ヨリ御太刀並御衣立ヲ御贈

158.

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

進アラセラレタル際皇帝ハ其ノ御太刀ヲ御神寶ト稱度ト申述ヘラレタリト渝レ承ル

3. 假殿御造營及諸調度品ニ就テハ內務省神社局ノ援助ニヨリ主トシテ日本專門家ニ於テ國ニ先チ萬端ノ準備ヲ行ヒタルモ之カ費途ハ特ニ陸軍ニ於テ軍需ヨリモ優先的ニ且船積等ニモ特別ノ注意ヲ拂フ如ク斡旋指導セリ

4. 七月十五日御創建ノ儀アリタル電報ニ接シ其ノ歷史的意義ノ重大ナルニ鑑ミ祝電ヲ發ス

三、國本寶定ノ詔書

1. 六月十八日詔書案文發付セラレ意見ヲ求メラル陸軍省トシテハ個

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

仰ヲ國民ニ強制シ得タルコト及支那事變遂行中神廟御創建ヲ國家的ニ大キク取扱フコトハ動モスレハ日本カ侵略スルカノ如キ印象ヲ與フル虞アルヲ以テ先ツ皇帝ノミノ御信仰トシテ内輪ニ止ムル方針ニ基キ諸書ノ發布ハ暫ク見合セラルルヲ可トスヘキ意見ヲ以テ派遣參謀及隨從シ來レル政府首腦者ト共ニ慎重ナル研究ヲ遂ケタリ

2. 現地側ノ説明ハ建國神廟御創建ハ嚴タル事實トシテ表ハルルモノニシテ寧ロ其ノ精神ヲ堂々宣明シテ誤解ヲ一掃スル要アリテ其ノ内容ハ國民ニ信仰ヲ強制スルニハアラスシテ國本（國体ノ字ヲ用ヒス）ヲ鞏固（滿洲本來ノモノヲ明カニスルニアラスシテ一德一

180

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

心ノ建國精神ヲ國本トシテ奠ムルノ義）シ國民道德ヲ示シ皇帝及其ノ子孫親ラ建國ノ元神（宗神ノ字ヲ用ヒス）ニ國利民福ヲ祈ル皇帝ノ御精神ヲ宣明セラルルモノナリトノコトニテ陸軍省トシテモ之ヲ諒トシ又陸軍省注意ノ點ハ現地側モ大イニ諒トシ字句ニ就テハ特ニ研究ヲ遂クルコトトナレリ

3. 其ノ最後ノ決定ニ對シテハ固ヨリ陸軍省之ニ干與スルコトナカリキ陸軍大臣六月十六日奉ノ書面ニ應フル爲七月十一日陸海發電第九一號ヲ以テ一般的注意ヲ述ヘラル

四、建國神廟御創建後ノ日本側ノ狀況

1. 御創建ノコトハ新聞紙ニ大キク報セラレタルモ論說的記事ヲ發見

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

セス關係當局ノ適切ナル指導ニ依ルコト勿論ナルヘキモ時過々近衛内閣組閣ノ機ニ當リ朝野ノ注意ハ之ニ集中シアリタルコトモ論議ノ對象タラサリシ一因ナルヘク果シテ然リトセハ天祐ト謂フヘシ

2. 十二月廿四日東亜民族文化協會ニ於テ本件ニ關シ懇談會ヲ開キタルモ批判的態度ヲ認メス却テ御訪日間ノ皇帝ノ信仰厚キ事例等ヲ談リ合ヘリ

昭和十六年一月八日日滿中央協會發行ノ「滿洲國皇帝陛下御訪日」ト題シ神廟御創建ニナル冊子ハ事務課ノ指導ニヨリ内容ノ豊富ヨリモ發行ノ迅速ヲ主トシ骨子ト趣旨ヲ誤ヘ誤解ヲ生セサランコトヲ期シタルモノナリ

162.

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp